

# PATHO News

自治医科大学 病理診断部

No.3 (新年特別号)

2010. 1. 15

<http://www.iichi.ac.jp/pathology/>

明けましておめでとうございます

病理診断部は、自治医大病院を受診された方々のために、適切な病理診断、細胞診断を行い、適切な医療の基礎にしてもらうことをその使命としております。このために、スタッフ一同、今年も一層の業務改善、診断レベル向上を目指して日々努力していきます。

引き続き、病理診断業務へのご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2010年の皆さまのご多幸をスタッフ一同お祈りいたしております。

病理診断部 部長 福嶋敬宜

## 病理診断部活動紹介

その1)

### 第48回日本臨床細胞学会秋季大会で発表

細胞診担当の田村聖月技師が、昨年10月30日に行われた日本臨床細胞学会秋季大会で示説発表を行いました。発表内容は、婦人科領域においては稀な腫瘍である未分化神経外胚葉腫瘍； PNETの細胞像を中心とした症例報告のほか、PNETと、鑑別が困難な小円形細胞腫瘍などの細胞所見における類似点や相違点の検討をしました。関係科の先生方にはお世話になり、ありがとうございました。

演題：腔原発Primitive neuroectodermal tumor (PNET)の1例

共同発表者：久保野幸子<sup>1)</sup>、鈴木智子<sup>1)</sup>、郡俊勝<sup>1)</sup>、藤原寛行<sup>2)</sup>、河田浩敏<sup>1)</sup>、山口岳彦<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>自治医科大学附属病院

病理診断部

<sup>2)</sup>自治医科大学医学部婦人科

その2)

### 消化器腫瘍の新WHO分類国際会議に出席

12月10日～12日に、フランス、リヨンにある国際がん研究機関（IARC）で消化器腫瘍WHO分類の国際会議が行われ、福嶋敬宜部長が出席してきました。メンバーは世界12カ国からの30名の消化器病理の専門家からなっており、今回、日本からは福嶋部長を含め4名が招待されています。会議は旧版の改訂から10年ぶりとなり、この間に出された新たな疾患概念などを中心に、一つ一つ慎重に検討されたとのことです。



福嶋部長が所属した脾臓腫瘍グループでの作業風景



全体会議の様子

### 検体受付及び剖検受付時間

8:30 ~ 17:15 (内線2257)

注) 土・日・祝祭日は剖検のみ受付

(内線2257 or PHS18218)

ニュースレター PATHO News 病理診断部 No.3 2010. 1. 15

発行 : 福嶋敬宜(ふくしまのりよし)

編集 : TEAM 飛田野清美(ひたのきよみ) 柳田美樹(やなぎたみき)

だっだっだっ 田村聖月(たむらみづき) 滝沢晴美(たきざわはるみ)